
「房室回帰性頻拍におけるアデノシン感受性副伝導路の疫学的電気性学的特徴について」に関するお知らせ

このたび、電子カルテ内の情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2019 年 1 月から 2025 年 6 月までに当院で WPW 症候群に対してカテーテルアブレーションを受けた方

2. 研究の目的

アデノシン三リン酸（ATP）による副伝導路の伝導遮断は比較的まれな現象であり特殊な副伝導路の特徴と考えられてきましたが、ほかにも ATP 感受性副伝導路は存在することが分かってきました。しかしこれら全体像はまだ明らかにされていません。本研究は小児例にとどまらず成人例も含めて ATP 感受性副伝導路についてその年齢別有病率と解剖学的分布および電気生理学的特性を調べることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテ上の情報を用いて臨床データとカテーテルアブレーションに関する情報（具体的には患者背景、ATP 感受性副伝導路の頻度、その解剖学的位置、およびその伝導特性に関する客観的指標）を使用いたします。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医大国際医療センターにおいて、研究責任者である小児心臓科 鍋嶋泰典が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

対象となる患者さんの電子カルテ内の情報を利用いたします。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 鍋嶋泰典

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 （担当者氏名） 鍋嶋泰典

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：房室回帰性頻拍におけるアデノシン感受性副伝導路の疫学的電気性学的特徴について

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 （担当者氏名） 鍋嶋泰典